

殺虫剤

アルバリン顆粒水溶剤

ジノテフラン水溶剤

平成24年12月19日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 「きゅうり」の適用病害虫名に「ウハムシ」を希釈倍数「2000倍」で追加する。
- 「ねぎ」の適用病害虫名に「ネギコガ」を使用法「灌注」で追加する。
- 「ねぎ」の適用病害虫名「ネギハモグリバエ」を「ハモグリバエ類」に変更する。
- 「ふき」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「3回以内(粒剤は1回以内、水溶剤は2回以内)」に変更する。
- 「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」、「きく」、「ばら」の「コナジラミ類」の希釈倍数を「2000～3000倍」に変更する。
- 「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」、「きく」、「ガーベラ」の本剤の使用回数を「5回以内」に変更する。
- 「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」、「ばら」、「きく」、「ガーベラ」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「5回以内(土壌混和は1回以内)」に変更する。
- 作物名「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」、「ばら」及び「ガーベラ」を統合し、「花き類・観葉植物(きくを除く)」とする。

太字が追加部分、下線が変更部分です。

作物名	適用場所	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
きゅうり	—	アブラムシ類 コナジラミ類	2000～ 3000倍	100～300L /10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
		アザミウマ類 ウリハムシ	2000倍					
ねぎ	—	アザミウマ類	2000倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(30×60cm・ 使用土壌約1.5～ 4.0L)当り0.5L	収穫3日前 まで	1回	灌注	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		アザミウマ類 <u>ハモグリハエ類</u> シロイモジヨトウ タネバエ ネギコガ	50倍		定植前日 ～ 定植時			
		アザミウマ類 <u>ハモグリハエ類</u> トビイロヒヨウタンゾウムシ	400倍		0.4L/m ²			
ふき	—	コナジラミ類	2000倍	100～300L /10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	<u>3回以内</u> (<u>粒剤は1回以内、</u> <u>水溶剤は2回以内</u>)
<u>花き類・</u> <u>観葉植物</u> (<u>きくを除く</u>)	—	アブラムシ類 コナジラミ類	<u>2000～</u> <u>3000倍</u>	1L/m ²	発生初期	<u>5回</u> <u>以内</u>	灌注	<u>5回以内</u> (<u>土壌混和は</u> <u>1回以内</u>)
きく	アブラムシ類 コナジラミ類	<u>2000～</u> <u>3000倍</u>	100～300L/10a	散布				
	カメムシ類	2000倍	1L/m ²	灌注				

アグロ カネシヨウ株式会社